



・会長 菊田 利昭 幹事 熊澤 功
 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 ・E-mail: jim@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



2022-23 年度
IMAGIN RI テーマ イマジンロータリー
 ロータリー 地区方針 未来を描こう、笑顔でつなごう

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

本日の例会プログラム 2022年9月16日 (第2438回) No. 2318

点鐘 12:30 卓話担当者 加藤 知徳君
 唱和 四つのテスト 卓話者 “
 3分スピーチ 桜井 雅博君 演 題 「自己紹介」

前回の例会記録 2022年9月9日 (第2437回)

○斉唱：それこそロータリー
 ○出席者：会員 20 名中 16 名出席 出席率 80.00%
 ○ゲスト：2022 年度米山記念奨学生
 ダバーサンバ・ゾルサルさん(ソラさん)
 ○来訪者：東尾張分区 ガバナー補佐
 武藤 栄司君 (岩倉 RC)
 RI 第 2760 地区 地区副幹事
 森田 乾嗣君 (名古屋中 RC)
 地区スタッフ 二村 憲君 (名古屋中 RC)
 東尾張分区 分区幹事
 深石 公彦君 (岩倉 RC)

ない、パートナー以外の人との自由な性関係を認めることを内容とする契約とのことです。

この契約が法的に有効か考えてみます。まず、契約自由の原則というものが、契約は当事者の自由な意思に基づいて結ぶことができ、どのような契約内容にするか自由に決めることができるのが原則です。ただ、この例外として公序良俗違反(民法 90 条)というものが、社会常識に反する契約は無効となります。

不貞行為は離婚原因となっていること、不貞行為は不法行為となること、などからすると、オープンマリッジ契約は、ケースバイケースですが、無効となる可能性が高いのではないかと思います。

実際問題としても、夫婦は、お互いパートナーのことを尊重して、夫婦関係という制限の中で行動していくべきものであり、パートナー以外の人との自由な関係を認めるのは違和感があります。もちろん、結婚後に運命の人と出会ってしまうこともあるかもしれませんが、そうであるなら、今のパートナーとの関係を清算してその運命の人と一緒にいることが自然でしょう。今のパートナーとの婚姻関係を続けながら公式に他の人と交際することは、子どもにも悪影響があるように思います。私個人としては、

会長挨拶 菊田 利昭



今日は重陽の節句です。無病息災、不老長寿、子孫繁栄を願う日で、菊酒を飲んだり栗ごはんを食べたりするとよいと言われています。また、明日は中秋の名月です。ぜひきれいな月を愛で

てください。

さて、オープンマリッジ契約というものを聞いたことはありますか？先日相談を受けた方が言っていたので、調べたところ、お互いの私生活に干渉し

基本的教育と識字率向上／O F D Y 月間

例 会 予 定	9月23日(金)	9月27日(火)	10月8日(土)	10月14日(金)
	休会 定款による休会	(30日振替分) ガバナー公式訪問 ホスト:愛知長久手 RC 卓話担当者:籠橋 美久ガバナー 卓話者: “ 演題:「ガバナー訪問に因んで」	(7日振替分) 尾張旭市民祭協賛 苗木配布 担当者:社会奉仕委員会 於スカイワードあさひ イベント広場南	休会 定款による休会

あまりオープンマリッジ契約には賛成できないです。

幹事報告

- ・9/8(木)危機管理セミナー 於 ZOOM 会議 菊田会長・熊澤幹事 出席。
- ・9/9(金)ガバナー補佐・会長幹事懇談会 於尾張旭市商工会館 2階 第1会議室 11:30~ 菊田会長・熊澤幹事・森井副会長・谷口亜弥副幹事 出席。

本日の会合：第3回クラブ協議会 於尾張旭市商工会館 2階 講習会室 13:40~
各委員長はご出席をお願い致します。

ニコボックス

○武藤栄司ガバナー補佐、森田乾嗣地区副幹事、二村憲地区スタッフ、深石公彦分区幹事、ようこそいらっしゃいました。ご指導いただきますようお願い致します。

菊田 利昭君、熊澤 功君、江尻 豪君
加藤 知徳君、桜井 雅博君、谷口亜弥さん
舟橋 龍秀君、古橋 裕志君、箕輪 良孝君
森井 晴生君、山田 直樹君

○ソラさんようこそ。例会を楽しんで下さい。

菊田 利昭君

ガバナー補佐・会長幹事懇談会

日時：2022年9月9日(金) 11:30~
場所：尾張旭市商工会館内 第1会議室
出席者：菊田会長・熊澤幹事・森井副会長
谷口亜弥副幹事



前列右から森田地区副幹事・武藤ガバナー補佐
二村地区スタッフ・深石分区副幹事
後列右から熊澤幹事・菊田会長・谷口副幹事
森井副会長

米山記念奨学生奨学金授与



2022年度米山記念奨学生
ダバーサンバ・ゾルサルさん

卓話



「クラブ訪問 卓話」
東尾張分区
ガバナー補佐

武藤 栄司

今期、東尾張分区のガバナー補佐をさせていただきます武藤栄司と申します。

簡単な自己紹介をさせていただきます。岩倉ロータリークラブ所属で区内最小クラブでもあり、ロータリーアン歴は2012年1月入会の10年目と浅く、8分区のガバナー補佐の中で最年少の58歳と三拍子揃いの若輩者でございます。

出身校は愛知高等学校から愛知学院大学 商学部経営学科を昭和62年に卒業し、日産のディーラーにて3年間の営業職を経て25歳で、父が祖父より受け継いだ自転車販売修理業を自動車販売修理業へと昭和31年に転業をした、民間車検工場(有)岩栄自動車「代理店名：スズキアリーナ岩倉」に平成2年に入社し、平成24年に代表取締役役に就任し現在に至っており、自動車業界の仕事に就いてから36年になります。

仕事以外では「岩倉市消防団員」を今年3月の退団まで31年間、数多くの火災現場にて消化活動を経験しました。その中で、リフォームをして未だ2週間たらずの自宅の母屋が、隣家の火災延焼で、その消化活動にまさか自分が携わるとは思いもありませんでした。消防職員や消防団員の仲間が一生懸命消化活動に励んでくれましたが、残念ながら母屋は全焼となってしまいました。私はその火事現場で、責任感だけでまるで他人事のように冷静に淡々と、消化ホースで消化活動をしていました。当時中学生だった娘の近所の友だちの男の子たちが、いつの間にか自宅の水まき用のホースを持参してきて、庭の水道に繋いで火を消そうとしてくれている姿を見て、私は「危ないから離れなさい！下がれ！」と叫んでしまいましたが、本当はとても嬉しく、「友達はいいものだなあ」とつくづく実感しました。子供たちにとって見た事がない燃え盛る大きな炎、とても怖かったです。また父が消化器ではとても追い付かず、使用した何本もの消火器を大火の中に投げ込んで、何度も何度もバケツの水で火を消そうとしている姿や、燃えてしまった我が家を放心状態で眺めている姿を、私は一生忘れることはないと思います。父だけ足に火傷を負いましたが、他の家族や火災活動に関わった方々に怪我がなかったことが何よりも幸いでした。被災した事を自慢する事ではありませんが、その経験で火災だけではなく、水害や地震などで被災された方の不安な気持ちや心理状態が理解でき、その方々に寄り添える心を、持てるようになった気がします。

平成14年度と15年度に「岩倉市商工会青年部部長」現在は「岩倉市商工会理事」市から委嘱を受け「岩倉市スポーツ推進委員(旧：体育指導員)」を25年間、現在は委員長で、丹波地区の会長 西尾張地区の副会長 愛知県スポーツ推進委員の理事をしております。地域総合型スポーツクラブとして「岩倉スポーツクラブ倶楽部」を平成20年に、副会長として設立に携わり活動を重ね、現在は会長として運営及び会員にスポーツ指導をしております。趣味は海外旅行(大学時代にアメリカ・イギリスと海外研修に行つて依頼はまり)今はコロナになり全く行けていませんが、今までに20ヶ国以上は旅してきました。

そしてキャリアだけは40年の下手なゴルフ(犬山CC・東建多度CC・オールドレイクGC・伊勢大鷲

GC)のメンバー会員であります、スコアは年々悪くなるばかりです。

大学時代の冬季12月~3月だけ4年間山に籠り、志賀高原の横手山スキー場にてアルバイトでコパンプラン・プロスキースクールのインストラクターとしてスキーの指導をしておりました。

中学・高校と6年間は卓球部に所属し、どちらも責任のない副キャプテン。同地区には中京・名電・東邦高校が存在する為、大会試合はいつも2回か3回戦負けで、午後からは栄で遊べる、私にとっては都合のいい運動部でした。

少林寺拳法貳段、岩倉道院に15歳から12年間通い、道院長に道場を継がされそうになりかけましたが、現在は頼もしい後輩が引き継いでくれています。その他スポーツの審判資格などを少し取得しております。

私は姉が二人の三人兄弟の末っ子の長男で、住まいは高齢の昭和2年まれ95歳の父、昭和9年生まれ88歳の母、妻の4人で、生まれ育った岩倉市で暮らしております。子供は29歳の娘がひとりだけで、2年前に嫁いでおり、現在は瀬戸市の公立陶生病院の小児科の医師で一児の母でもあります。

岩倉RCはクラブ会員数が少ない事情もあり、2015-2016加藤陽一ガバナー年度と2020-2021岡部努ガバナー年度と、2回のクラブ会長を務めさせて頂きました。私は人が困っていると、どうしてもほっとけない性分で、何においても断ることが特に苦手です。縁あって色々な役職に就かせてもらい、年齢の割には多くの経験をさせていただき、関わりのあったみなさんや、あきれ果てていた妻・両親・社員には本当に感謝しております。これらの経験が将来に向けて何か人や地域のお役に立てればと、日々考えているうちに、何故か役だけが増えていってしまいました。クラブ会員の皆様の中にも、同じ様な方は多いかと思えます。むしろそんな方々ばかりかもしれない。そんな方々に囲まれて過ごせるクラブ活動が、私の何ものにも代え難い財産であります。ここからはガバナー補佐の役割としてのお話をさせていただきます。「クラブと地区を結びつけること」が一番の目的・使命だと考えております。

さらには会員の声を聞き、情報やアドバイスをする事「力不足ではありますが」スタッフのみなさんの協力を得て、クラブを成功へと導ける、又はきっかけとなるお手伝いができれば幸いです。

そしてガバナー補佐としてお伝えすべきことは、
●女性初の国際ロータリー会長でジェニファー・ジョーンズ

RIテーマである「イマジン ロータリー」について

●今年度、笹橋美久ガバナー

地区スローガンについて「未来を描こう、笑顔でつながろう」~一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して~

最後に地区活動方針・強調事項についてご説明をさせていただきます。

「イマジン ロータリー」

これが、ジェニファー・ジョーンズ会長が、2022年1月に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすこと

をロータリー会員に求めています。「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。

私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」このロゴは、オーストラリアの先住民民族でグラフィックデザイナーのリキ・サラム氏(Riki Salam)によってデザインされました。サラム氏は、メルボルンで開催される2023年ロータリー国際大会のロゴも手がけており、視覚的によくわかるよう目に見える形で表現しています。このデザインには、各所に深い意味が込められています。例えば、先住民アボリジニの文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、その周りにある7つの点は「人」をあらわすと同時にロータリーの七つの重点分野を表しています。

ここでもう一度ロータリーの七つの重点分野についておさらいしてみたいと思います。ロータリーの重点分野とは、世界で必要とされるロータリーの7つの人道的な問題を重点的に取り上げるものです。2021年度からは従来の6つの重点分野に加えて「環境」が加わりました。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの進むべき道の道しるべを表しています。その下の太い緑の線は、なんでしょう。これはいわゆる「掘り出し棒」すなわち必要なものを掘り出す道具を表していて、力仕事をするときを使うものだということです。行動を起こす仲間であるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

次に、色について申し上げます。ジェニファー・ジョーンズ会長は、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色(一つでも、三つすべてでも可能)を使うよう2022-23年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持つようにしたかった」とジョーンズ氏は説明しています。実は、色の解釈については何通りかあります。その中の一つを例にとりますと、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」、紫は「ポリオ根絶」を表しているとしています。

次にイマジンについてです。ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してみてください」とおっしゃっています。「ポリオのない世界を想像してみてください」「みんなが安全な水を使える世界を想像してみてください」「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してみてください」、やさしさ、希望、愛、平和を想像してみてください、だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのですとジェニファー・ジョーンズ会長は呼び掛けています。次に、ジェニファー・ジョーンズ会長は今年度「DEI」の積極的な推進を強調しています。これは地区研修・協議会やPETSでも説明されたことですので重複することも多くあると思いますが、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努力する事が必要であるという事です。少し詳しく説明しますと、ダイバーシティ・多様性とは、年齢・性別・民族・

宗教・疾病・障害・国籍・教育等の違いを尊重し、あらゆる背景を待った人を歓迎するという事です。エクイティ (Equity)・公平さとはロータリーで言う公平性とは、情報・機会・リソースへのアクセスについて、すべての人に公平な扱いを保証しようとするものです。大事なことは平等 (EQUALITY) と公平 (EQUITY) とは違うということです。公平さということとは下駄をはかせ公平にしようとするということです。関連して、ロータリーで使われるフェロシップについてです。フェロシップとフレンドシップは違います。ただ仲良くするフレンドシップと違い、フェロシップは同じ志をもって共に行動するという事です。ロータリーで言う「親睦」はフレンドシップではなく、フェロシップなのです。

次にインクルージョン (Inclusion) についてです。これは、直訳すると包括・包含という意味です。包括は全体をまとめること、包含は大きなまとまりの中に含ませるという意味です。簡単に言うと帰属意識のことです。どのような個人・集団であっても、歓迎され、尊重され、支援され、参加できるようなインクルーシブな環境を作るということです。ダイバーシティとは直訳すると多様性という意味で、ビジネスに当てはめると多様な人材を活かすことです。それに対して企業内すべての従業員が仕事に積極的に参画できる機会を持ち、それぞれの経験や能力、考え方が認められ活かされている状態といえます。多様な人材については人種や国籍、性別、性格、学歴など、幅広い捉え方がされています。それらにとらわれず就業機会を広げる、という意図で使われています。多様な個性を受け入れるだけでなく、個性を尊重して、すべての人が活躍できる環境を整備するのが、インクルージョンの考え方であり、ダイバーシティを実現するための、補完的な概念だと思っています。立場や考え方の違いを超えて、すべての人が平等に活躍できる社会の確立が求められている現在、ビジネスシーンでもインクルージョンの概念は今後さらに注目が集まるでしょう。つまりロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織になるよう努力することが必要であると思います。RI 会長は、すべての会員がロータリーとの強いつながりを実感できるようにするためには「会員がクラブに対して心地よさを感じることで、そして、会員への配慮」が必要であるとおっしゃっています。これは冒頭に申し上げました今期のロータリーのテーマにも共通する考えだと思っています。もう一度テーマに戻りますと、ジェニファー・ジョーンズ会長は「想像してみてください」「ポリオのない世界を想像してください」「みんなが安全な水を使える世界を想像してください」

「疾病のない世界、すべての子どもが読める世界を想像してください」「やさしさ、希望、愛、平和を想像してください」だからこそ「イマジン ロータリー」がテーマなのだと思いますと呼び掛けています。

籠橋ガバナーの地区方針であるスローガン「未来を描こう、笑顔でつなごう」～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

1. 計画的なクラブ運営・活動を行いましょ

- ・クラブセントラルに登録し、定期的な検証を行い、年間目標の達成を実現しましょう
- ・年間活動計画を明確にクラブ会員に周知し、奉仕事業を成功させましょう
- ・数値目標を設定し、それに向かって一丸となって進んで行きましょう

2. 会員の増強をしよう

- ・目標 会員 5,000 名達成しましょう
- ・女性会員の在籍率を 8% に増強しましょう。現在世界での女性会員は 25%、日本の女性会員は 7.2% (2760 地区は 6%) であり、ジェンダー格差を改善して参ります。
- ・若い年齢層の入会を促進させましょう

3. ゴミ投棄防止運動

- ・自分の街からごみをなくそう
 - ・河川の美化を図ろう
 - ・海岸の美化を図ろう
 - ・生態系を守ろう
- 環境改善事業として、身近な事から活動しよう。特にごみ放棄、海洋マイクロプラスチックの投棄に関するストップ運動を行いましょ。

4. ポリオ根絶への貢献

- ・ポリオ根絶募金活動をロータリー財団中心に実施し、地域社会へのアピールを行いましょ。ポリオ (急性灰白髄炎) は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは 5 歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンでの予防が可能です。

ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中 25 億人以上の子どもたちにワクチンを投与する活動を行ってきました。二年前、ポリオ根絶活動について大きなニュースが世界中に発信されました。2016 年にナイジェリアで確認されたのを最後にポリオの感染例は 4 年間報告されていないため、WHO はアフリカで野生株のポリオウイルスが根絶されたと宣言しました。残された課題はポリオの感染が途絶えたことのないパキスタンとアフガニスタンの根絶です。20 世紀半ば、日本でもポリオが大流行した時期がありました。ピークは 1960 年 (昭和 35 年) で 6,500 人の発生がありました。この年には 160 万 6,041 人が生まれていますので、単純計算約 250 人に 1 人が小児麻痺、すなわちポリオを発症しています。しかし、海外から経口ポリオ生ワクチンを緊急輸入し、予防接種をおこなうことで流行は急速に収束していきました。また、ポリオの定期予防接種を強化したことにより、国内では、1980 年 (昭和 55 年) を最後に、野性株によるポリオ患者は報告されていません。先ほども説明させていただいたようにパキスタンとアフガニスタンの問題です。戦争の停戦交渉や宗教の問題が壁となっています。ナイジェリアでは、以前、一部の宗教指導者が、ポリオワクチンが不妊の原因になっていると主張していました。それが原因で、子どもにポリオワクチンを接種させない両親がいまだにいます。

これらの例でも明らかなように、ポリオは、単なる医療課題ではありません。武装勢力の妨害や宗教的指導者の科学的根拠に基づかない主張によって、ワクチン接種ができない。その結果、本来ワクチンで予防できたはずのポリオの感染が、拡大してしまうのです。ポリオという病気を根絶するためには、停戦交渉や宗教指導者との対話など、医療という枠組みを超えた、政治・外交・社会的働きかけが必要です。「世界からポリオを根絶する、そしてポリオのない世界の実現」という最終目標を達成するために、ポリオ根絶へのご理解と一層の御支援をお願い致します。全世界で、3年間野生株でのポリオ発症ゼロが証明され、WHO（世界保健機関）が根絶宣言をして、世界中でポリオの予防接種を終了することができます。地球上からポリオウイルス根絶が宣言されるまで、全ての国や地域で予防接種を続けなければなりません。各地で計画されたイベント（例えばワールドフード+ふれ愛フェスタ（WFF））にて、地域社会への広報に努め、公共イメージ向上に協力しましょう。

5. 公共イメージ向上

- ・奉仕活動を地域社会にアピールしましょう
- ・MY ROTARY の登録の促進を図りましょう
登録率 50%を目指す My ROTARY ではロータリー会員向けの情報やツールをご利用いただけます。
- ・ホームページの活用を促進しましょう
- ・地区内各委員会との連携を図りましょう

6. 地区大会 みんなで成功させよう！

開催日：11月12日（土）13日（日）

名古屋観光ホテル（第1日目）

愛知県国際展示場（第2日目）

7. 第10回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ（WFF）開催

WFFの3つの目的

- (1) 収益金による人道的奉仕活動（ファンドレイジング）
 - (2) ロータリーの公共イメージ向上
 - (3) ポリオ根絶に参加
開催日：2023年4月15・16日
場 所：エディオン久屋広場
- #### 8. 国際大会（メルボルン）へ参加しよう
- ・2023年5月27日（土）～31日（水）
ガバナーナイトを開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

お願い事ばかりで大変恐縮です、立場上どうしてもお願いせざるを得ないことばかりです。嫌われることを覚悟をお願いをさせていただきました、どうかよろしくお願いいたします。

箆橋ガバナーは、「活動方針の本質は笑顔にある」とおっしゃられています。私たち自身が笑顔を忘れず、一人でも多くの人たちを笑顔にすることが大切です。ロータリーがこれまで蓄積してきた過去の実績を踏まえ、さらに多くの笑顔に溢れた未来を実現していきましょう。そのためには今の時代に即した改革が必要です。過去に学び、未来を想像しながら、近隣クラブやロータリアン同士が知恵を出し合いながら一丸となって活動を進めていきましょう。会員のみなさん積極的な参加をお願いいたします。

す。以上のメッセージをお伝えして私の卓話の結びとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

第3回クラブ協議会

日時：2022年9月9日（金）13：40～

場所：尾張旭市商工会館内 講習会室（例会場）

各委員長の活動計画とガバナー補佐への質問

《副会長・SDGs担当（森井 晴生君）》

【質問】

今年度ガバナー方針の中に前年度のカーボンゼロの様なSDGsに関連する様なターゲットはありますか。

【回答】

SDGsとは言っていないが、環境プラスチックゼロをガバナー方針として提唱しています。

《会員研修・会員増強委員長（桜井 雅博君）》

【質問】

ロータリークラブのコアとなる価値観についてご教授下さい。

【回答】

特にありません。

《親睦活動委員長（古橋 裕志君）》

【質問】

岩倉ロータリークラブの親睦活動の内容を教えてください。また、地区の親睦活動方針はありますか。

【回答】

会員に限られる為、例会・会場委員会と協同で会場設営を全員で行う事が親睦につながる為、特に活動自体はありません。また、地区の親睦活動方針は特に別段ございません。

《公共イメージ向上委員長（仲澤 昌容君）》

【質問】

陰徳の言葉があるが、広く知ってもらうこととどうすりあいをつけると良いですか。工夫することを教えてください。

【回答】

公共イメージ発信はあまきは良くないが、活動の結果・クラブイメージを知ってもらったとなるのが良いと考えます。

《例会運営委員（仲澤 昌容君）》

【質問】

コロナ対策などを踏まえ、ネットを使用しての例会開催が行われているようですが、実例を御存知であれば教えてください。

【回答】

双方向通信（ZOOM）に限らず、一方通行配信（YouTube）を使って同時刻・別時刻で参加を促す方法を使っているクラブもあります。

《社会奉仕委員長（山田 直樹君）》

【質問】

市民を巻き込む奉仕事業のアドバイスを下さい。

【回答】

地域に密着した事業を見つけて下さい。

《ロータリー財団委員長（西尾 輝久君）》

【質問】

財団の事では無いですが、他クラブのコロナ禍での数年間はどのような例会をされていたのでしょうか。

【回答】

名古屋中 RC の地区副幹事より、140 名程度の会員が在籍しているが、緊急事態宣言が発出された時以外は、一般会員に然るべき対策を立てて、なるべく 90%以上の出席を要請しましたと回答頂きました。



9/2(金)卓話



「共生社会を今・ココから～人の可能性を信じ支え合う～」

谷口 亜弥

《私が共生社会を訴え活動をする目的》

- ①障がいの有無に関わらず、多様な人びとが支え合い、誰もが共に様々な楽しみ・親しみを毎日の生活に感じてもらいたい。
- ②『次の目標へのステップ』といったそれぞれが活躍できる環境作りと、『生きる目的』を見つけるきっかけ作りの場を提供したい。
- ③一人一人の自己実現を叶えられる場所・環境にしたい。
- ④2030 年達成目標 SDGs 活動を踏まえ、『共生社会の実現に更に近づく為に、ポジティブな思考や価値観の共有』が行えるよう、『情緒を重んじる教育』を全ての人に提供したい。
- ⑤日本の若者・この地域の若者を中心に、『暮らしやすさ・楽しさ・新たな発見や喜び』を発信することで、近い将来地元への I ターンで地域活性化を図りたい。
- ⑥共生社会における芸術や食文化、遊びを地元から提案、発信し、日本をより暮らしやすい国にしていく為の心の団結を結んでいくことの大切さを発信したい。

共生社会とは・・・

社会には様々な状況や状態にあたりする人々がいますが、「共生社会」は、様々な人々が全て分け隔てのなく暮らしていくことのできる社会のことです。

障がいのある人もない人も、支える人と支えを受ける人に分かれることなくともに支え合い、様々な人々の能力が発揮されている活力ある社会です。

共生社会の実現とは・・・

「環境のバリアフリー」と
「心のバリアフリー」を行うことで実現します。

●環境のバリアフリー●

- ①物理的なバリア…狭い通路や段差など車いすだと通りにくいことなど
- ②制度のバリア…障がいがある為特定の資格や免許を取得できないなど
- ③文化や情報面のバリア…点字や手話がない講演会、音声だけのアナウンス、光沢紙の使用など

環境のバリアフリーを実現するには、『国や店舗、イベントの主催側が積極的に動く必要があります。』

これまで特別支援学級など、障がい者と健常者の子どもには教育に隔たりがありました。しかしこれからは、障がいのある子もいない子も同じ場で学ぶことを「インクルーシブ教育」が必要です。

私は尾張旭市で児童発達支援専門教室 Flocorir・Flocorir Fit を運営する中で、日々インクルーシブについて考え、未来の教育・療育の最適・最良を探っています。そこで感じることは、子どもの頃から多様性に対する感覚を学ぶことの重要性です。これこそが差別をなくしインクルーシブ社会に近づく大事な一歩ともいえるのではないのでしょうか。

『共生社会の実現に必要なインクルーシブ教育の実現を目指す』

●心のバリアフリー●

- ①環境や心のバリアを取り除くのは、『社会の責任』であると理解する
- ②障がい者を差別しない
- ③自分とは違う状況にある人ともコミュニケーションできる力を身につけることや、困り事や苦しみを理解する心を持つこと
「環境のバリアフリー」と同等に大切な「心のバリアフリー」
社会には様々な人がいて、それぞれが「心のバリア」を持っています。
心のバリアを無くすには、全ての人々が『積極的に互いを理解し、助け合う姿勢』が求められます。これが今の日本が最も苦手とすることではないのでしょうか。自分とは違う体や心の特性・考え方を持つ人を一人ひとりが認め、お互いを分かり合う為に話をし、支え合う姿を「心のバリアフリー」と呼びます。共生社会の為に一人ひとりが具体的にできることは、「心のバリアフリー」です。
全ての人々が「心のバリアフリー」の意識をもって生活することで、共生社会の実現に近づきます。